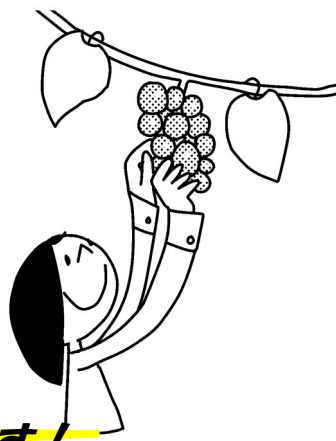


図書便り

文責：司書 坂本



リサイクル図書の募集延長します！ご協力をお願いします！

9月から『リサイクル本』の募集を開始します！いらなくなった本。読まなくなった本などなど…。集めた本は学級文庫に活用したいと思っています。ぜひ、たくさんのご協力お願いいたします。

★募集期間★

令和元年9月2日(月)～10月18日(金)

★募集場所★

図書館・生徒昇降口前の箱

★対象者★

甲佐高校全生徒・職員



◎持ってきて欲しい本◎

小説 / ケータイ・ライトノベル / 漫画 /
絵本 / 学習用図書 / 資格取得の本 /
一部雑誌(ファッション・生活・料理・カルチャー雑誌など) など

×持ってきてても受付ない本×

漫画雑誌(少年ジャンプなど) / 週刊・青年誌
古い字典・辞書 / 新聞 / チラシ
汚れていたり破れている本・雑誌 など

10月・11月は読書週間です！

朝夕はすっかり涼しくなり、過ごしやすい季節になってきました。秋といえば、そう！読書週間(10/27～11/9)です！突然ですが、読書週間とは、いつ何のために始まったのか、ご存じですか？

「終戦もない1947年(昭和22)年、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているなかで「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・取次会社・書店と公共図書館、そして新聞・放送のマスコミ機関も加わって、11月17日から、第1回『読書週間』が開催されました。そのときの反響はすばらしく、翌年の第2回からは期間も10月27日～11月9日(文化の日を中心にした2週間)と定められ、この運動は全国に広がっていきました。」

公益社団法人 読書推進運動協議会 (<http://www.dokusyo.or.jp/jigyoo/jigyoo.htm>) より引用

たくさんの人の平和と文化の発展への願いから始まったイベントだったんですね。ぜひ、みなさんもこの機会に、平和と文化の発展への願いを込めて、読書をしてみてください。そして、素敵な本との出会いがあれば、ぜひ、周りの人にもおすすめをしてみてください(^^)



●新刊図書を一部ご紹介します！読書の秋です！



『ウナノハテノガタ』 大森兄弟

一いいか、島でのこと、だれにも話してはいけない。一代々、父は嘘つき、子は怖がり。"死"を知らない海辺の民が、生贄(いけにえ)の運命から逃れた少女に戦慄する。弱いことは"罪"なのか？原始の海に埋もれたどこにもなかった物語。



『日本現代怪異事典』 朝里樹

こっくりさん、カシマさん、口さけ女、トイレの花子さん、ひきこさん…。各都道 県に伝わる怪異を徹底解説した1冊。

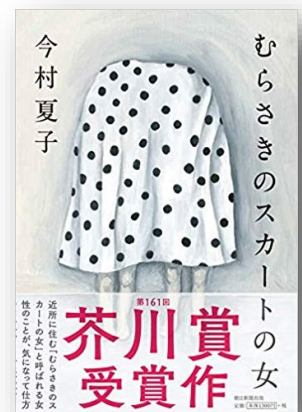


『天気の子』 新海誠

高校1年の夏、帆高(ほだか)は離島から家出し、東京にやってきた。連日降り続ける雨の中、雑踏ひしめく都会の片隅で、帆高は不思議な能力を持つ少女・陽菜(ひな)に出会う。「ねえ、今から晴れるよ」。それは祈るだけで、空を晴れに出来る力だった。天候の調和が狂っていく時代に、運命に翻弄される少年と少女が自らの生き方を「選択」する物語。長編アニメーション映画『天気の子』の、新海誠監督自身が執筆した原作小説。

『むらさきのスカートの女』 今村夏子

近所に住む「むらさきのスカートの女」と呼ばれる女性のことが、気になって仕方のないわたしは、彼女と「ともだち」になるために、自分と同じ職場で働きだすように誘導し…。不穏な空気が漂う第161回芥川賞受賞作！



『私は私のままで生きることにした』 キム・スヒョン

一ひとと比べて、何になる？誰かと比べて生きるなんて、もうやめたらいいよ。一 韓国の若者を中心に大反響をよんだ1冊。世界にたった一人しかいない自分を大切に生きていくために、忘れないで欲しい70のこと。

他にもたくさんの新刊が入りましたので、ぜひ、図書館にきてください（＾＾）

